



品川シルバー大学同窓会

2024年3月31日

第108号

会報

品川シルバー大学同窓会
TEL 080-6634-6797
ssu.dosokai@gmail.com

第25回定期総会について

会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと推察いたします。新型コロナウイルスによる大禍もようやく終息へと向かい、日常生活を取り戻しつつあります。品川シルバー大学同窓会の定期総会も3度にわたる書面総会を経て昨年度より通常通り対面で行っており、昨年度予算・事業とも皆様の協力を得てほぼ計画通り実施することができました。2024年度（令和6年度）第25回定期総会につきましても、来る4月25日（木）中小企業センター2階大講習室で行うこととしております。定期総会は同窓会にとって最高の意思決定の場であり、①過年度の決算・事業報告 ②当該年度の予算・事業計画の策定 ③役員を選任などを討議・決定いたします。現在、同窓会はコロナ禍によるシルバー大学修了生の激減による新入会員の大幅な減少と、それに伴う財政難（収入減）にあえいでおります。会員数300名程度と従前より100名程減少し、当面この状態は続くものと思われます。このため不本意ながら昨年度から講演会、見学会費用の一部を参加者から徴収（講演会300円、見学会100円（50円は保険料））させて頂いております。さらに今後、会報などの送料の大幅アップも見込まれる等より効率的な同窓会運営が必須となっております。今後とも、月1回の催し物（見学会、講演会、定期総会）と年6回の会報発行を続けていく計画です。会員の皆様には是非、定期総会へ出席し活発な議論のうえご賛同いただけます



ようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

品川シルバー大学同窓会 会長 保坂 駒雄

2023年度 第5回見学会

谷中七福神を歩いて

場 所：谷中七福神巡りと夕やけだんだん
日 時：2024年1月17日（水）
10：00－12：00

参加者数：71名

前日の強風と寒気から一転、好天に恵まれ足取り軽く谷中七福神めぐり。一部割愛して、さらに10日までしか公開されていない神様は写真で確認しながらウォーキングに徹することになりました。



星雲寺 恵比寿

江戸の名残のうねうね道をたどり、その他の興味深い名所旧跡も見物。四十七士や彰義隊関連の場所も多く、上野戦争の影響が色濃く150年前が身近に思えます。谷中霊園は桜並木と真ん中に交番がある観光地。幸田露伴の五重塔が迷惑な心中事件の巻き添えで焼失したと知り、犯人の苗字が自分と同じではないだ

ろうねと心配するメンバーも。



谷中五重の塔跡

下町の雰囲気を盛り上げるのは、べっ甲屋・和服の古着屋・雑貨屋の店先には竹箒や藍の前掛け。昭和のテレビドラマ寺内貫太郎一家の石屋はどのあたりかなと思ひながら楽しく歩きました。



護国院 大黒天



旧東京音楽学校

ガイドは同世代で声の大きいのは良いが歩くのが速い方だったため、最後尾が着く前に説明を始めてしまう場合も。早目に終わったので上野山を案内して頂きましたが、それよりも少しゆっくりと下町・寺町の風情を味わ

えると良かったと思いました。

街歩きガイドは依頼時と出発前に要望を伝え、かつ、最後尾の人もその組の旗を持つとかの工夫をするとわかりやすいです。

公共の場所での受付方法にも改善の余地あります。加えて、同窓会への要望窓口の整備もお願いします。ひとこと感想のスペースでは足りないし、総会まで待てない・出られないかもしれません。以前メールで提言を出した際、妙な対応をされ困惑しました。同窓会の存在意義は高齢者の『知りたい・行きたい』意欲に応えるもので、役員が同世代であり、経験と知識で高齢者の心と体を理解できるのが最大の長です。会員の排除に繋がるような運営だけはしないで欲しい。

財政面や役員不足で苦慮されている点については抜本的な改革、例えば、使い物にならない会員名簿の廃止、会報の簡素化・デジタル化と郵送希望者からの送料徴収も検討してはいかがでしょうか。

難波 葉子 (2021年入会)

ひとこと感想

別紙にて



不忍池弁天堂 弁財天

同窓会より：

いろいろご意見等有難うございます。

いただいたご意見、ご要望などは役員会で協議の上実施できるものから実行してまいります。また、同窓会へのご意見、ご要望などは直接役員に伝えるか、メール、電話でも常時承っております。

門戸は常に解放されております。頂いたご意見などは上述の通り役員会で協議・実施し会員の皆様の期待に応える同窓会運営を目指してまいります。

日本の正しい伝統文化と 日常の立ち居振る舞いを学び直す

講師：小笠原流礼法 内田 菱正 師範

日時：

2024年2月26日（月）

14：00～16：00

参加者：69名

講演を終えて

『礼儀作法とは、時と所と場合によって自己の衝動や情感を制御する機能

であり、“しきたり”や“きまり”、身体の起居動作はそれを体現するための法式である。ここでは、自己の情感（憎悪であれ愛情であれ）と、“しきたり”や“きまり”は、交互に補い合って矛盾することがない。われわれの祖先はこの自己抑制機能に、美的な基準、道徳的な基準を付け加え、“文化”という概念の一翼を担うまでに引き上げられたものが礼儀作法である』－小笠原流礼法前宗家 小笠原忠統
つまり相手へのところ遣い、察する力、“謹む”と“慎み”ある行動が大切だということです。“謹む”と“慎み”は、共に『包む』ということばから派生したもので“謹む”は、畏まって相手に敬意を示すこと“慎み”は、言動を控えめに度が過ぎぬようにすることで、何かをあからさまに見せ付けない奥ゆかしさが込められています。日本人特有の自己を抑制し、美意識を通して自然なかたちで表されたものが礼儀作法であるということです。

最後にうるわしい人を目指して～人生100年時代と呼ばれるなか、自己の人格を磨きより豊かで充実した人生を過ごすことを目的としたのが生涯学習です。自己の充実、啓発や生活向上のため、自発的意思に基づいて行うことが基本です。この“自発的意思に基づいて”がとても重要です。

よく「歳を重ねても意欲のある人は老けにくい！」と言われています。今回ご参加いただいた皆様、とても意欲的で若々しく感じられた所以と存じます。意欲の低下は脳の老化が原因で、記憶力の低下と思われがちですが、



記憶をつかさどる脳の海馬という部位の萎縮が目立ち始めるのは、大体70代からだそうです。実は、意欲をつかさどるのは脳の前頭葉で、何と40代くらいから萎縮が始まると言われています。抗うためには早めの心掛けとこれまでの年齢のバイアスに囚われないことです。『60代はお爺さん、お婆さん』『70代、80代はヨボヨボでシワシワのお爺さん、お婆さん』などとふるいこころの年齢のバイアスに囚われず、いつまでも新しいチャレンジを続けて意欲的に生きることが大切です。ちなみに前頭葉には大いに『笑う』ことが免疫力を高めて刺激になるそうです。『学び』で知性を高め、『笑い』で免疫力を上げることは、見た目を惹き立てることに繋がる大事な要素であると思います。そして長寿社会で幸福に暮らすために最も重要なことは、私利私欲に満ちぬよう人と人との繋がりがより円滑なものでなければなりません。



講師紹介

小笠原流礼法では 1.察する気持ちを育む 2.慎みの心を磨く 3.臨機応変に行動する という3つの柱を理念とした魅力的な人間関係を築き上げることをコンセプトに『うるわしい人』を目標にしております。最後に今回接することが叶いました皆様からパワーを頂戴し、年齢のせいにして諦めない人生という私自身の戒めとなりましたことこころより感謝を申し上げます。

◆ご質問内容につきまして◆

【質問】現在、具体的に学ぶにはどのような方法（教室？）がありますか

➡弊事務所が運営しております本部直営教室というものがございます。

ご興味がおありの方は下記、ホームページより詳細をご覧くださいお問い合わせいただけますと幸甚に存じます。

お知らせ：小笠原流礼法宗家本部オフィシャルサイト (ogasawararyu-reihou.com)

以上でございます。

よろしく願い申しあげます。 内田 菱正



お辞儀の作法を学んで

ひとこと感想

今回は紙面の都合上別紙にて掲載。

同窓会よりひとこと

このたびの講演会では、募集案内を受けて参加された会員の皆さまの意図と差異が生じた部分がありご迷惑をお掛けしました。今後も講演会、見学会とも改善に努めたいと考えていますので、よろしくご支援お願いします。なお小笠原流礼法の作法、姿勢と基本動作等についてご興味のある方は、下記図書をご覧ください。

表題：小笠原流礼法入門

見てまなぶ 日本人のふるまい

川柳雑詠

春寒の	法つくる	花道の	さくら見	妻多忙	万博も
桜出鼻を	議員が法を	引き際みごと	に 踊り子号で	レトルト食に	五輪と一緒に
くじかれて	犯しおる	あざやかに	伊豆もうで	馴される	延期かな
			ゆみこ	のぼる	のぼる
きくえ	きくえ	ゆみこ	ゆみこ	のぼる	のぼる

著者：小笠原敬承斎

発行所：淡交社

(同窓会事業部一同)

あとがき

例年のごとく、3月末の会報の発送は4月にずれ込んでしまいました。ご容赦をお願いします。また、貴重なご意見を「ひとこと感想」としてたくさんお寄せいただきありがとうございます。皆さんに読んでいただきたいので別紙として添付いたしました。次号は新年度となります。引き続き同窓会活動にご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。(S.K)

定期総会・講演会のご案内

★A定期総会(第25回)

日時 2024年4月25日(木)

14時30分～15時30分

場所 品川区立中小企業センター

2階大講習室

★B講演会(第1回)

演題 「テリー伊藤の：

人生、舐めてかかって

まじめにやる！」

講師 テレビプロデューサー、

タレント

テリー伊藤氏

日時 2024年5月16日(木)

14時～16時

受付 13時30分～13時50分

場所 品川区立中小企業センター

2階大講習室

募集 80名

会費 300円

詳細内容・申し込み方法

同封のチラシを参照ください。

締切日 2024年4月18日(木)

~~~~~

### ★今後の行事予定

(詳細は5月号にご案内)

#### ・第1回見学会

行先 六義園と古河庭園を歩く

日時 2024年6月26日(水)

#### ・第2回講演会

演題 源氏物語の魅力を探る

日時 2024年7月30日(火)

(予定)